

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【公開番号】特開2012-29766(P2012-29766A)

【公開日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2012-007

【出願番号】特願2010-170351(P2010-170351)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 9 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月28日(2013.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X 線を照射する X 線源と、

前記 X 線源と対向配置され、被検体の透過 X 線を検出して電気信号に変換する X 線検出器と、

前記 X 線の照射領域を制限する X 線絞り手段と、

前記 X 線の照射領域を示す可視光を照射する光照射手段と、

前記 X 線源と前記 X 線検出器との間の距離を測定する測距手段と、

前記測定された距離に応じて、前記可視光の物理量を変更する可視光変更手段と、

前記電気信号に基づいて前記被検体の X 線画像を生成する画像処理手段と、

を備えることを特徴とする X 線画像診断装置。

【請求項 2】

前記可視光変更手段は、前記測定された距離と、前記被検体の X 線撮像において要求される前記 X 線源と前記 X 線検出器との間の距離を示す要求値と、の差分に応じて、前記可視光の物理量を変更する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の X 線画像診断装置。

【請求項 3】

前記可視光変更手段は、前記差分に応じて、前記可視光の照射間隔、輝度、又は色のうちの少なくとも一つを変更する、

ことを特徴とする請求項 2 に記載の X 線画像診断装置。

【請求項 4】

前記差分に相当する数値を前記可視光により投影する投影手段を更に備える、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の X 線画像診断装置。